

大学における教育・研究の充実と活性化（ライフサイエンス）

平成20年度予定額 20.7億円（前年度予算6.1億円）

臨床研究・研究支援人材の養成 —社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム—

平成20年度予定額 1.6億円（前年度予算 1.6億円）

創薬・新規医療技術の開発等に資する臨床研究を一層推進するための質の高い臨床研究者や研究支援人材の育成に係る優れた取組を支援。

大学病院連携型高度医療人養成推進事業

平成20年度予定額 15.0億円（新規）

複数の大学病院が緊密に連携協力して実施する多様な医療人養成の取組に対する支援（高度な臨床研究者の養成を含む）

国立大学の取組に対する支援(国立大学法人運営費交付金・特別教育研究経費)

平成20年度予定額 4.1億円（前年度予算 4.5億円）

- 「つくば次世代医療研究開発・教育統合センター」としての臨床試験支援体制の構築
〔筑波大学〕
- 先進医療開発システム 〔福井大学〕
- トランスレーショナルリサーチとしての先端医療用マテリアル開発・供給システム構築のための戦略的推進研究 〔名古屋大学〕
- 次世代医療技術・創薬・臨床開発プロジェクト 〔京都大学〕
- 大学病院における治験推進モデル組織の構築 〔大分大学〕

臨床研究・研究支援人材の養成

～平成19年度「地域医療等社会的ニーズに対応した
質の高い医療人養成推進プログラム」選定取組～

- 群馬大学:大学院融合型OJTによる臨床試験人材養成
- 神戸大学:先進的CRESPによる臨床研究教育の改革
- 山口大学:大学院コースによる臨床研究支援人材の養成
- 九州大学:良質な医師主導臨床試験支援人材の育成
- 琉球大学:臨床研究専門医と上級CRC養成プログラム
- 東京慈恵会医科大学
:プライマリケア現場の臨床研究者の育成
- 北里大学:臨床研究人材育成教育コンソーシアム
※慶應義塾大学、順天堂大学との連携

大学病院連携型高度医療人養成推進事業

平成20年度予算額15億円（新規）

背景・目的

- ・大学病院の教育・研究機能の低下により優れた専門医・臨床研究者が不在
 - ・大学病院の機能低下・医師不足により将来の医師養成に対する懸念の顕在化
- 専門医・臨床研究者の質の向上、魅力ある大学病院づくりを進めるため、大学病院間の連携・協力による大学病院の教育研究・供給機能強化が必要

主な提言等：「医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議 最終報告」（H19.3文科省協力者会議）
「緊急医師確保対策」（H19.5政府・与党）、「経済財政改革の基本方針2007」（H19.6閣議決定）等

事業概要

複数の大学病院間が緊密に連携・協力して実施する、循環型の医師キャリア形成システムを構築（全国15事業を予定）

- 大学病院連携型の養成プログラムの策定・実施により、質の高い専門医・アカデミックマインドを持った臨床研究者を養成
- 都心の大学病院と地方の大学病院における得意分野の相互補完により、幅広い知識・技術を習得
- 教育研修体制の充実と必要な症例数の確保により、専門医取得を支援（後方支援病院）
- 専門研修医の循環の活性化により、地域の医師不足にも貢献

国公立大学 病院

キャリア形成支援センターとしての機能強化

- 専任コディネーター配置
- 人材育成プログラム開発・評価
- ネットワーク・データベース整備
- 生涯教育・FD実施 等への支援

大学病院における教育研究指導体制強化

- 指導者・指導支援者配置
- シミュレーター・スキルラボ整備

専門研修医が循環

大学病院連携型の養成プログラムによる専門医養成システム

遠隔教育等による継続的キャリア形成
大学側指導医による巡回指導

都道府県域を超えた広域的連携・協力

国公立大学 病院

国公立大学病院

後方支援病院

専門研修医循環活性化

- 専門研修医及び巡回指導医の移動・滞在時負担への手当

大学病院の専門研修環境整備・充実

- 連携指導者への手当
- カフアルシブ・実習環境整備

国立大学における治験関連人材の養成を目的に掲げる大学院(専攻)の設置状況

【平成16年度設置】

- 徳島大学大学院薬科学教育部(創薬科学専攻、医療生命薬学専攻)

【平成17年度設置】

- 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科(創薬生命科学専攻)

【平成18年度設置】

- 富山大学大学院医学薬学教育部(薬科学専攻、臨床薬学専攻、生命薬科学専攻)

【平成19年度設置】

- 東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻(専門職大学院)
- 岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科
創薬分子科学専攻・医療情報科学専攻(博士課程) ※岐阜薬科大学との連合
- 京都大学
薬学研究科医薬創成情報科学専攻(博士課程)

【平成20年度設置】

- 東京大学大学院薬学系研究科(統合薬学専攻)

大学における研究推進のための主な環境整備

☆治験ネットワークの構築

治験実施機関がネットワークを構築し、各機関で機能を分担したり、相互補完することにより、治験の「質の向上」「スピードアップ」「コストダウン」を図る。

○大学間ネットワークの構築例

「大学病院臨床試験アライアンス」

- ・東京大学、群馬大学、千葉大学、筑波大学、東京医科歯科大学、新潟大学を構成大学として平成18年6月設立。
- ・大学病院で国際共同治験を積極的に受けられる体制を整備し、医薬品等の臨床開発の遅れに歯止めをかけることを目的とする。

○地域医療機関とのネットワークの構築例

「近隣地域医療機関との病一診ネットワークの構築」

- ・症例数を確保しつつ、全体の「質の向上」「スピードアップ」「コストダウン」を図るとともに、地域医療機関を支援（山口大学）。

○非営利法人(中間法人)設立によるネットワークの構築

「CReS九州」非営利法人(中間法人)

- ・九州の9大学病院(九州大学、福岡大学、久留米大学、長崎大学、佐賀大学、大分大学、鹿児島大学、産業医科大学、宮崎大学)が中心となり、九州各地域の医療機関と連携して平成16年8月に設立。
- ・地域医療機関やSMO業者と治験ネットワークを形成し、連携することにより、治験実施基盤を整備を図り、大規模かつ高品質の治験を実施することを目的とする。

☆企業からの寄附による寄附講座の設置

製薬会社等からの寄附により設置された寄附講座により、治験の基盤となる基礎的研究を実施。

- (寄附講座の例)
- | | |
|---------------------------|---|
| 東京大学「薬剤疫学講座」(武田薬品工業 外21社) | |
| 京都大学「探索臨床腫瘍学講座」(大鵬薬品工業) | |
| 大阪大学「漢方医学(ツムラ)寄附講座」(ツムラ) | 等 |